

農技セ第5012号
令和3年5月24日

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長

令和3年度技術情報について

令和3年度技術情報第1号を発表したので送付します。

令和3年度技術情報第1号

令和3年5月24日
徳島県

名西郡石井町に設置した予察灯で、5月17日にトビイロウンカが1頭誘殺されました。過去10年間で、本虫の飛来が5月中に確認されたことはありません。このため、今後の病害虫防除所が発表する発生予察情報等を随時確認するとともに、適切な防除指導をお願いいたします。

作物名:水稲

病害虫名:トビイロウンカ

発生地域:県内全域

発生時期:5月

1 発生状況

- (1)名西郡石井町に設置した予察灯において、5月17～18日の夜間にトビイロウンカの今年初の誘殺が確認された。
- (2)本県において、過去10年間で、本虫の飛来が5月中に確認された事例はない。
- (3)他県でも既に本虫の飛来が確認されている。

2 防除対策等

- (1)田植えがまだ行われていない地域では、トリフルメゾピリムを含む箱施用剤(商品名:スクラム箱粒剤, フルスロットル箱粒剤等)を処理する(表1)。
- (2)本県は今年度既に梅雨期に入っており、今後とも本虫の断続的な飛来があると考えられるため、田植え時に箱施用剤を処理していない場合は、本田での発生に特に注意し、発生を認めた場合は薬剤防除を行う(表1)。
- (3)防除薬剤については、徳島県植物防疫指針を参照する

3 農薬安全使用上の注意事項

- (1)農薬を使用する場合はラベルをよく読み、登録の有無と収穫前使用日数や使用回数を確認するとともに、本田の止水期間を遵守する。
- (2)風の強い日には散布を控え、風向きに注意し、ほ場周辺への薬剤飛散防止に努める。

表1 トビイロウンカに使用可能な主な農薬(農薬登録内容：令和3年5月21日現在)

作物名	農薬名称 (商品名)	希釈倍数・使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	RAC コード
稲	スクラム箱粒剤	育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約 5L)1箱当り50g	は種時覆土前～ 移植当日	1回	育苗箱の上から均 一に散布する。	4E他
	フルスロットル箱粒剤	育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約 5L)1箱当り50g	は種時(覆土前)～ 移植当日	1回	育苗箱の上から均 一に散布する。	4E他
	ワイドパンチ豆つぶ	250g/10a	収穫35日前まで	1回	散布	2(B)
	トレボン水和剤	2000倍	収穫21日前まで	3回以内	散布	3(A)
	トレボン粒剤	2～3kg/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	3(A)
	なげこみトレボン	水溶性容器10個 (500mL)/10a	5葉期以降 収穫 21日前まで	3回以内	本田に水溶性容器 のまま投げ入れる	3(A)
	MR.ジョーカーEW	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布	3(A)
	トレボンEW	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	3(A)
	トレボン乳剤	1000～2000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	3(A)
	アドマイヤー水和剤	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布	4A
	アドマイヤー1粒剤	3kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	4A
	アルバリン/スタークル粒剤	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4A
	エクシードフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	4C
	ダントツ水溶剤	4000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	4A

○徳島県内の病害虫の発生予察情報，発生状況，防除法等をお知らせしています。

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所

所在地 〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井字石井1660

電話 088-674-1954 ファクシミリ 088-674-3114

URL : <https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/t-boujoshou/>